

令和 7 年度第 3 回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 令和 7 年 9 月 2 5 日（木） 午前 1 0 時～午前 1 0 時 3 0 分

【ところ】 池田市役所 3 階 議会会議室

【出席者】

■委 員：中川会長、村瀬副会長、福井委員、真崎委員、牛嶋委員

■事務局：水越総合政策部長、塩川総務部長、村上市民活動部長、野村市民活動部次長兼
シティプロモーション課長、永原総務部次長兼人事課長、山本財政課長、森本
総合政策部次長兼政策企画課長、小松政策企画課副主幹、高橋政策企画課主任
主事

【傍聴者】 4 名

【内 容】

1) 開会

＝事務局から配付資料の確認＝

2) 議事

案件 1：行財政ステップアップガイド重点計画に係る重点ターゲット令和 6 年度実績報告
（確定版）（案）について

＝事務局から配付資料について説明＝

＝質疑応答（抄録）＝

（会 長）

- ・ 本意見書は、前回の委員会での議論を踏まえて作成されたもの。追加で盛り込む内容など、ご意見があれば発言をお願いします。

（各委員）

- ・ 特になし。

（会 長）

- ・ それでは、修正の必要はないものとして、原案通りとする。
- ・ 続いて、案件 2 について、事務局より説明をお願いします。

案件２：池田市使用料の算定及び見直しに関する指針（案）について

＝ 事務局から配付資料について説明 ＝

＝ 質疑応答（抄録）＝

（会 長）

- ・ こちらの答申書（案）についても、ご意見があれば発言をお願いします。

（委 員）

- ・ 答申書（案）の内容については異論なし。
- ・ 「池田市使用料の算定及び見直しに関する指針（案）」について、前回の委員会から変更点はあるか。

（事務局）

- ・ ３ページ目「３．原則となる考え方」の「（２）算定方法の共通化」内、「使用料等」について、「等」をつける必要のない箇所だったため「使用料」に文言を修正している。

（会 長）

- ・ 他に意見・質問等がなければ、本委員会の答申として確定するがよろしいか。

（各委員）

- ・ 異論なし。

（会 長）

- ・ それでは、本委員会を代表し、私から水越総合政策部長に対し、案件１に係る意見書及び案件２に係る答申書をお渡しする。

＝ 中川会長から水越総合政策部長に意見書を手交 ＝

（事務局）

- ・ ただいま、中川会長より案件１に係る意見書及び案件２に係る答申書を頂戴した。今後、委員の皆様からのご意見を踏まえ、さらなる行財政改革を推進してまいりたい。
- ・ 特に案件２について、今後の改定作業にあたっては、市民の皆様に納得いただけるよう丁寧な説明に努めるとともに、公共施設の管理に係る運営経費の見直しについても、必要に応じて検討を進めてまいりたい。
- ・ 今後も引き続き忌憚のないご意見を賜りますことをお願い申し上げ、私からの挨拶とさ

せていただく。

(会 長)

- ・ 本日の議事は以上だが、せっかくの機会なのでその他ご意見があれば発言をお願いします。

(委 員)

- ・ 修正するほどではないが、2点気になったのでお伝えする。
- ・ 案件1に係る意見書内で、「定性的な」という表現を使っているが、当然ながら定量的な評価についても説明できる資料作りに励んでいただきたい。
- ・ 案件2について、維持管理・運営経費は決算額を用いて算定するイメージと思うが、経費削減目標を示し、それを維持管理・運営経費に反映して算定ができればよりよい形。ただし、これは難しいと思うので、可能であれば今後検討いただきたいという程度。

(委 員)

- ・ 案件1の資料について、以前と比べて資料が見やすくなったことは大変嬉しく思う。
- ・ また、委員会に出席する中でもDXの推進が実感でき、これまでの努力が形になりだしているなと感じている。今後も引き続き、職員のモチベーションアップにつながる取組については積極的に取り組んでいただきたい。

(委 員)

- ・ 案件1の資料について、委員として長く携わってきた中で、以前より資料が見やすくなったと実感できている。
- ・ 財政状況が厳しいことも理解しているが、子育て支援日本一をめざす池田市らしく、子どものことを中心に考え、将来につながる取組に期待したい。

(副会長)

- ・ 案件1について、他の委員からもコメントがあったが重点ターゲットの取組についてわかりやすくまとめられている点は非常によい。
- ・ 一方で、今後の財政の見通しとしては雲行きが怪しい。公共施設の再整備に大幅な支出を控えていることなどは、市としても大きな課題だと思うので、次年度以降、案件1の中でも少し触れるべきでないかと思料。

(会 長)

- ・ 長きにわたって池田市の財政状況を見守ってきているが、職員の皆様が努力していることはひしひしと伝わっている。それにも関わらず、財政調整基金の取り崩しが続くなど厳しい状況下にあるのは外部環境による要因も大きい。市としても、このことをもっと

説明したほうがよいのではないか。私は、そんな厳しい状況下で頑張っている池田市にエールを送りたい。

- ・ 私は国策の一貫性のなさに批判的な意見をもっている。例えばコロナ禍においては、アベノマスクに約500億円支出、医療業界に関しても莫大な補助を行い、全国の公立病院の経営が一斉に黒字に転じた。何を申し上げたいかと言うと、国の財政的な支出の仕方に思想がなさすぎるということ、また、そのことで都道府県・市区町村が振り回されているということ。そのことを市民の皆様にもわかっていただきたい。
- ・ 最後に、公共施設等総合管理計画に基づいて公共施設の再整備を行っていくと思うが、市民の利用に供する公共用施設だけを対象とするのではなく、公用財産も対象とすることを市民の皆様にも明らかにしながら、再整備を進めていただきたい。また、教育・福祉等の社会保障に資する施設が優先的に手厚く、そして豊かになるように取り組むことを切に要望する。

3) 事務連絡

＝ 事務局から委員会の今後の予定などについて説明 ＝

- ・ 本日は貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。第2・3回の委員会でご審議いただいた内容については、10月に開催予定の池田市行財政改革推進本部会議で報告し、内容を確認する予定。
- ・ また、委員の皆様任期について、9月末日をもって一旦満了となる。この2年間、池田市の行財政改革推進に向けてご尽力賜り感謝申し上げます。10月以降も引き続き就任いただく皆様におかれては、今後も宜しくお願い申し上げます。
- ・ 次回は、「行財政ステップアップガイド重点計画の令和7年度取組実績（速報版）及び令和8年度目標（案）」について、令和8年5月頃に開催する委員会でご審議いただく予定をしているので、よろしくお願い申し上げます。
- ・ 最後に、本日の議事要旨については、後日皆様にご確認をいただいたうえで配布資料とともに市ホームページに公表させていただく。

4) 閉会

以上